

3

法要・後事

年忌法要

仏式の法要

名称	初七日	二七日	三七日	四七日	五七日	六七日	七七日	百ケ日	新盆	一周忌	三回忌	七回忌	十三回忌	十七回忌	二十三回忌	二十七回忌	三十三回忌	三十七回忌	五十回忌
法要の年月日	死後七日目	死後十四日目	死後二十一日目	死後二十八日目	死後三十五日目	死後四十二日目	死後四十九日目	死後百日目		死後満一年	死後満二年	以後は死亡した年も入れて数える							
内容	近親者、知人を招き供養	遺族だけで供養		近親者、知人を招き忌明けの供養。納骨も			近親者、知人を招き供養	この一年間に死亡した仏を供養する	近親者、知人を招き供養	しだいに招く人をしぼってゆく				一般的には、ここで終わることが多い					

※死後の数え方は、宗教・宗派により異なります。

神式の霊祭

名称	翌日祭	十日祭	二十日祭	三十日祭	四十日祭	五十日祭	清祓の儀	百日祭	一年祭	二年祭	三年祭	五年祭	十年祭	五十年祭	
霊祭の年月日	葬儀の翌日	死後十日目	死後二十日目	死後三十日目	死後四十日目	死後五十日目	五十日祭の翌日	死後百日目	死後満一年						
内容	近年では省略することが多い	近親者が知人を招き供養	ごく内輪で行うことが多い		忌明け、近親者、知人を招き供養		忌明けの祓いと清めとし、神棚の白紙をとって封じをとり、これで忌が明け平常の状態にもどる	近年は省略するか、ごく内輪で行う	多くの場合、十年祭までを知人近親者を招き供養						霊祭に招かれた人は金包みを持参し、表書きは「御玉串料」「御榊料」「御神前」とします。水引きは、双銀、または黒白が適当です。

キリスト教の記念式

名称	三日目	七日目	一ヶ月目	万霊節	死者記念のミサ
年月日	死後三日目	死後七日目	死後一ヶ月目	十一月二日	死亡した日
内容	近年では省略することが多い	近親者、知人を招き営む	「死者の日」教会で死者達の追悼が執り行われるので近親者、知人は参列する	毎年死亡した日（祥月命日）を記念して近親者知人で墓参りしたり追悼会を行う。一年目を特に盛大に行うが十年目毎など、区切りのよい年にミサを行う。	<p>キリスト教</p> <p>カトリックでは追悼ミサ、プロテスタントでは記念式といい、死亡して一ヶ月目を「昇天記念日」として記念式を行います。会食に招かれたら「御花料」と表書きした金包みを持参します。</p>